



- 会長／矢島 進
- 副会長／山岸邦太郎・北澤洋之介
- 幹事／林 尚孝
- R 情報(会報)委員長／佐伯克己

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2833 回例会 2018 年（平成 30 年）5 月 29 日(火)

点 鐘：矢島 進 司 会：宮坂晃介
斉 唱：我等の生業
ラッキー No：NO. 23 高木克彦

会 長 挨拶

今月 24 日友人に誘われて大相撲夏場所観戦で両国国技館に参りました。

お目当ては御嶽海の応援でしたが、大関目指す関脇栃ノ心と横綱白鵬との結びの一番も楽しみでした。もし栃ノ心が勝てば横綱が格下力士に負けたということで「座布団の舞」も期待できると友人にレクチャーされ、座布団投げができれば良いなど会場に向かいました。

会場内で御嶽海の文字が書かれた五百円のタオルを購入し、応援する体制を整え取り組みを待ちました。御嶽海の出番になると、結構多くの御嶽海ファンがタオルを両手でかざしており、長野県民としては嬉しくなりましたが、私のところを見た方から「それだと負けちゃうぞ」と指をさされ、何のことかと自分のタオルを見ましたら字が逆さでした。慌ててタオルを持ち替え応援しましたが、残念ながら御嶽海は千代大龍に突き出されてしまいました。

気を取り直し観戦を続けていると、会場にどよめきが起こり、栃ノ心が全身高揚しピンクがかった赤鬼の様相で東方から入場してきました。注目の一番、白鵬との対戦はガップリの力相撲となり、私たちも思わず手に汗握る申し分ない好取組でした。栃ノ心が寄り切って勝つと会場全体が歓声に包まれ、座布団が舞い、私も興奮し無我夢中で握りしめていた座布団投げを果たすや否や、後ろからの座布団が後頭部に当たり、感激の余韻に浸る間もなく我に返りました。生の大相撲はテレビでは味わえない臨場感だけでなく、感動も共有できる魅力溢れる観戦となりました。

今場所も連日満員御礼で相撲人気も復活しております。栃ノ心が三役から幕下に落ちたにもかかわらず大関昇進を果たした偉業は、多くの人に勇気と感動を与えてくれました。私はにわかファンですが、これからも益々皆に愛される大相撲になって欲しいと願っております。

委員会報告

社会奉仕委員会 過日 27 日（日）に、早朝より諏訪湖清掃にご参加いただきました皆様お疲れ様でした。好天の中無事終了できました。ありがとうございました。



助成金贈呈式



卓話「自立について」 つつじが丘学園園長 川瀬勝利様

本日は歴史ある岡谷ロータリークラブにご招待いただき、また子ども達のために助成金をいただき心より感謝申し上げます。

会員の皆様の中には、子ども達がお世話になった方も何人かいて地元の企業さんに子どもを育てるお手伝いをしていただきました。

これからする子ども達のお話のキーワードは「自立」ではないかと思います。

この春3人の高校生が卒業し、夢と希望を持って無事就職、進学をいたしました。

いろいろ相談する中で、親に対する複雑な思いもあるけれど自分自身の道を進みたいという自分の意思に基づいて我々は応援してきました。しかし大学に関わる費用などは県に申請しても出してもらえません。また、奨学金については競争率も上がりあるべきものが必要とされながらも受けることができない子どもがいるというのが現状です。進学希望の子どもについては、つつじが丘学園を支援する会を作り受験料、学費、生活費、そして卒業後自立できるまでのアフターケアの支援も我々の仕事としてやっております。

つつじが丘学園もう60年になりますし、何百人という子ども達が施設を通過しておりますので成功ばかりでなく、厳しい実情もありました。しかし岡谷ロータリークラブの皆様はじめ諏訪地域の方から応援を受けているということが、その子の最後の背中を押すような形になって学業を諦めて就職するのではなく学んで社会に貢献したいという子育てに繋がっているのだと思っています。子ども達にも話をしています。これからは子どもの数も減りますし、勉強もしっかりやって優しい子どもを地域で育てていかないといけないと思っています。その観点では施設の子どもも家庭の子どもも一緒ですので、どうか今後ともご支援をいただければと思います。

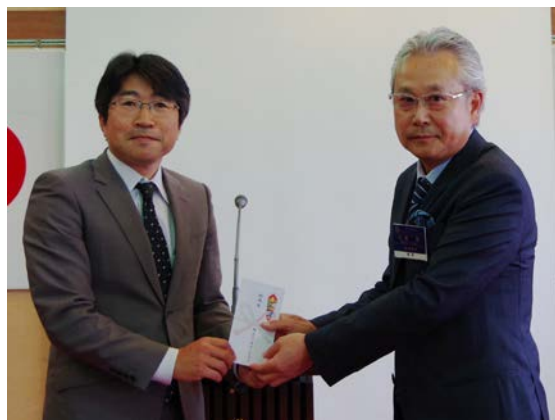
この4月は40名でスタートしております。その割合は高校生が14名、未就学児が2名と、10年前とは逆転しております。高校生の中には進学を希望している子もおり、公立大学には奨学金はありますが、私立大学に施設から行くのは限りなく不可能に近いです。だからと言って公立がダメだったから就職にするという形にはしたくないのです。できるだけチャレンジは多くさせてあげたいと思っております。この度皆様からいただいた助成金についても進学、あるいはアフターケアで子どもの自立のために使わせていただきたいと思います。

子どもの施設は家庭の消防署だと言われています。それが諏訪地域にひとつしかないのです。今でも年間約100名の子どもが亡くなっております。そのうち約50名が親子心中です。そんな子ども達が増えていかに地域でどう支えるかという観点から、茅野市や諏訪市につつじが丘学園の分室や、サテライトのような形で家族支援をするところがあってもいいのではないかと思います。子どもの支援というより世帯を支援するということです。子どもに対して良質な養育を提供することが我々の仕事と認識しております。そんな形で広域にも訴えていきたいと思っておりますのでご協力いただければと思います。

岡谷でも、子ども食堂ですとか地域の様々な活動が変わってきました。つつじが丘学園も親がいない子どもが行く場所ではなく、親がいながら施設を使わざるを得ないということです。理由の55%は児童虐待45%は養護です。そんな子ども達でも、我々は一人一人の違いを認めながら子ども達を自立させたいのです。暖かい場所で美味しい物を食べてゆ

ったり過ごすということも大事です。施設に来て初めてクリスマス会をやってもらったという子どもがこの時代でもいます。生理的に子どもにとって大切なもの、また子どもの時期に与えなきゃいけないものは与えなければいけません。ただし、そこがゴールではなく子ども達を自立させ一人前にするためには様々な環境と人の手助けはどうしても必要です。つつじが丘学園の職員も一生懸命頑張っておりますが、その施設と職員を支える団体または個人として皆様のお力をお借りすることで、子どもは変わります。大人を信頼できない子ども達ばかりですが、学校とも連携し励まし合ってやれば子どもは必ず変わります。事実です。学校の現場でも先生達は目を見開いて見れるわけです。つまり大人も変われるわけです。そういったノウハウを持って我々職員が社会に訴える力となれますように重ねてご協力のご支援を申し上げ、感謝とお願いの言葉といたします。

本日はありがとうございました。



ニコニコボックス

宮澤由己 今月は創業月です。

笠原新太郎 何か月か前に店の中に落ちていたン万円が警察から戻ってきました。バチが当たるといけないので、ニコボックスに全て入れます。

今井康善・太田博久・小口 隆・小口泰史・小口裕司・小山 智・薩摩 建・佐藤有司・瀬戸雅三・高木克彦・中嶋孝一・中畑隆一・中村文明・濱 毅・濱 俊弘・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・平沢清文・宮坂晃介・矢島 進・矢島 實・山岸邦太郎・山崎典夫・山岡俊幸・吉村栄二・小林大介・杉村邦彦 つつじが丘学園園長 川瀬勝利様、卓話よろしく願いいたします。

出席報告

会員数43名、出席者30名、出席率76.92%、前々回訂正85.71%



5月27日(日)

諏訪湖清掃に参加の皆様
お疲れ様でした・・

2017-2018

岡谷ロータリークラブテーマ

『楽しく奉仕の輪を広げよう』



2017-2018 年度RIテーマ
ロータリー：変化をもたらす
ROTARY: MAKING A DIFFERENCE



ロータリー：
変化をもたらす